

患者の訴えに対して他剤を提案し、コンプライアンス向上

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は患者の訴えに対して薬剤の変更を医師に提案することにより、コンプライアンスの向上につながった事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶ ストーマ閉鎖術施行目的にて入院
持参薬確認のため訪室し、服薬状況を聴取する。
【持参薬】エディロール®カプセル 0.75 μ g 1cp 1日1回朝食後

Fさん



こんにちは。おくすりを飲まれていて困っていることはありませんか。

実は…この薬飲みよったら胃の調子が悪くなるけん、あんまり飲んでないよ。

そうですか。同じ働きの薬に変更できるか医師に相談してみましょう。



薬剤師



医師

Fさんが服用しているエディロール®カプセルについてですが、胃部不快感があってあまり服用できていないそうです。薬剤の変更を検討していただけないでしょうか。

そうですか。ではアルファカルシドールカプセルに変更してみましょう。



Fさんおくすりを変更してから体調はいかがですか。

胃のムカムカもなくなって、薬しっかり飲めよるよ。ありがとう。



胃部不快感の出現なく経過し、服用可能となった。
患者の訴えに応じ、他剤への変更を提案することで患者の副作用を改善し、服薬コンプライアンスの向上に貢献できた。